

事業評価票

104	女性の就業拡大に向けた取組の推進 (産業労働局雇用就業部／一般会計)	事業開始	平成 27 年度
		事業終了予定	平成 30 年度

【局評価】

1 どのような経緯で事業を始めたか、何をを目指すのか

- 少子高齢化の急速な進展による労働力人口の減少を受け、各業界において人材確保が課題となる中、労働力確保の観点より、女性の潜在的労働力の掘り起しが求められている。
- 女性の活躍推進は、国や経済界、地域等をあげて取り組まれており、都においても普及啓発や情報提供を行うなど、女性の活躍推進に資する取組を行っていく必要がある。
- 女性のニーズや能力に応じて、就業が進んでいない分野への就業拡大を図ることが必要である。

根拠法令等

2 どのように取り組み、どのような成果があったか

- 女性の就業拡大を図るため、業界団体や関係機関等と連携し、女性の就業に向けた機運を醸成する普及啓発イベントを実施した。
- イベントでは、著名な女性経営者等による就業に関するセミナー、建設や製造、家事サービス等の企業や業界団体等によるブース出展、就職活動に向けたミニセミナー等を実施した。
- 来場者に対するアンケートでは、85%超の方が満足との結果が出ており、「内容が非常に充実しており勉強になった」「女性の働き方など、たくさんの情報を自由な雰囲気ですぐに入手できたので、来た甲斐があった」などの声が寄せられた。

《来場者アンケート結果》

満足・やや満足	どちらでもない	やや不満
85.9%	12.8%	1.3%

【財務局評価】

5 財務局として、成果や課題などについて、どう考えたか

- 現在の取組については、来場者から高い満足度を得るなど、機運の醸成に一定の成果が認められた。
- さらに女性の活躍推進に向け、実際の就業まで結び付けていく取組を実施する必要がある。

3 どのような課題や問題点があったか

- 現在の取組は、就業分野の拡大に向けた普及啓発イベント等を通じて、女性の就業が進んでいない分野に女性の関心を向けるとともに、就業意欲の醸成を図る面では効果的であった。
- 今後、女性の就業拡大をさらに推進するためには、機運醸成のみならず、マッチング支援等により実際の就業に結び付けていく取組が必要である。

4 局として、事業をどうしていきたいか

拡大・充実	見直し・再構築	移管・終了	その他
-------	---------	-------	-----

- 既存の普及啓発イベントに加え、新たに、東京労働局との連携により求職者と企業のマッチングの機会を提供することで女性の就業を促進する。
- また、子育て中の女性も参加しやすいよう都内各地で実施するなど、女性の就業拡大に向けた積極的な施策展開を図る。

歳入	26年度決算額	— 千円	歳出	26年度決算額	— 千円
	27年度予算額	— 千円		27年度予算額	22,097 千円
	28年度見積額	— 千円		28年度見積額	61,394 千円

6 28年度予算で、どのように対応したか

拡大・充実	見直し・再構築	移管・終了	その他
-------	---------	-------	-----

- 経費の精査を行った上で、所要額を計上する。

歳入	28年度予算額	— 千円
歳出	28年度予算額	60,137 千円